

「田植え体験」

H29年4月「吉野熊野新聞」より

4月28日、五郷小の児童と恒例の「田植え体験」を行いました。

美味しいお米を作ろう

五郷小 五郷中ふる郷創生実行委と田植え

熊野市の五郷小学校（伊藤聡校長）と五郷中学校（高田有治校長）、ふる郷創生実行委員会（吉田和男委員長）は四月二十八日、五郷町の田んぼで田植えを行った。農業の重要性を再確認した。

昨年度に続いて、低農薬で有機米コシヒカリ・ホタルの光を栽培する取り組みで、三重南紀農業協同組合が協力の中田敏也さん所有の約七畝の田んぼを使い、小中学生と教

員、保護者、同実行委員会（メンバー、JA職員ら四十五人が参加した。同実行委員会の大橋秀行世話人が「農業は約二千五百年前から行われ、とても大事。3K（きつい・汚い・危険）農業から新3K（健康・希望・環境）農業に変えるよう取り組んでいる」と述べ、五郷小学校子ども会の浦刈歩斗副会長（五年）が「美味しいお米が作れるよう、みんなで頑張ります」と挨拶した。

JA営農指導員が「苗は四、五本を手に取り、二〜三センチの深さに植えて下さい」と説明。全員が素足や長靴姿で水が張られた田んぼに入り、手作業で丁寧に苗を植えた。

五月中旬に草取り機を使って除草作業を実施し、八月下旬に稲刈りを行う予定。収穫した米は五郷小学校の収穫祭、五郷婦人会活動、ふれあい公園での秋祭りの景品などに使用するという。



丁寧に苗を植える小学生ら



植え方を教わる児童と生徒ら

実りの秋を思い浮かべ

五郷 児童生徒が田植え体験

熊野市五郷町の「ふる郷創生実行委員会（吉田和男委員長、大橋秀行世話人）は4月28日、同町の水田で五郷中、小学



【頑張りましたよ】と浦狩君

校の子どもたちと田植え作業を行った。同委員会は五郷の活性化を目的に、「いさと会」区長会「婦人会」「五楽会」「五郷消防団」はじめ地元建設、建築会社ら有志で組織。昨年からJA三重南紀の協力も得て、地区の小学校と共に低農薬・有機米のコシヒカリ・ホタルの光の栽培に取り組んでいます。今日は頑



【説明を聞く児童生徒】



【田植えに励む子ども達】

張って植えましよう」と元気よくうたと話し、作業の流しを説明。子ども会を代表し五郷小5年生の浦狩歩斗君、口勇井本員夫さんが「美味しいお米が作れるよう頑張ります」と元気づけられた。この後、参加者は田んぼへと入り田植えを開始。子どもたちは泥に足を取られながら、農に親しんでいる。今後は5月中旬に草取りを、8月下旬に収穫を予定しており、収穫した米は学校での収穫祭や五郷の祭りの景品、婦人会の炊出しなどに利用される。